



プレスリリース  
< 報道関係各位 >

2018 年 9 月 26 日  
ドーモ株式会社

## 7 割以上の経営層が自社のデータ環境に「落第点」

9 割が改善の必要性を感じ、改善により生産性向上や売上拡大に期待  
～ Domo とダイヤモンド社によるデータ活用の実態調査結果より ～

当プレスリリースにおいて、記載内容に一部誤りがございました。以下、お詫びして訂正させていただきます。

訂正箇所：

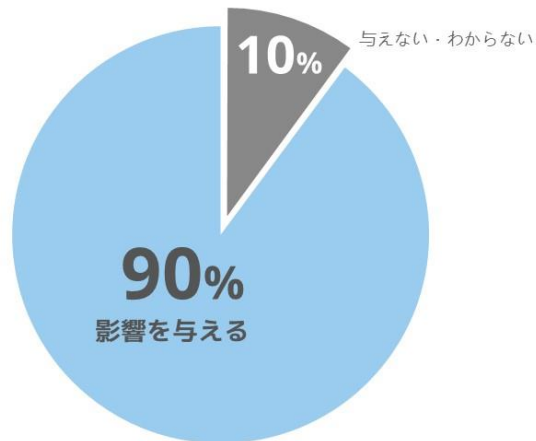
- ・ 本文：自社データ活用環境に改善の必要性を感じている割合を変更。  
正 ) 9 割  
誤 ) 90%
- ・ チャート：自社データ活用環境に改善の必要性を感じている割合を変更。  
正 ) 89%  
誤 ) 90%

[ドーモ株式会社](#)（本社：東京都渋谷区、代表取締役：川崎友和、以下ドーモ）は本日、経営者や企業幹部（以下経営層）を対象に実施した「経営層のデータ活用の実態に関するアンケート」（以下本調査）の調査結果を発表しました。同調査結果では、経営層の 9 割が自社のデータ活用環境に改善の必要性を感じており、7 割以上が現状のデータ環境に対し 60 点未満の落第点をつけるなど、経営層が自社のデータ環境に大きな不満を抱いている現状が浮き彫りとなりました。

本調査は、ドーモと株式会社ダイヤモンド社の運営するビジネス情報サイト「ダイヤモンド・オンライン」の共同調査で、ダイヤモンド・オンラインの読者のうち経営者・役員・部長職を対象に実施したものです（有効回答数 218 / 調査期間：2018 年 7 月 18 日～7 月 31 日）。

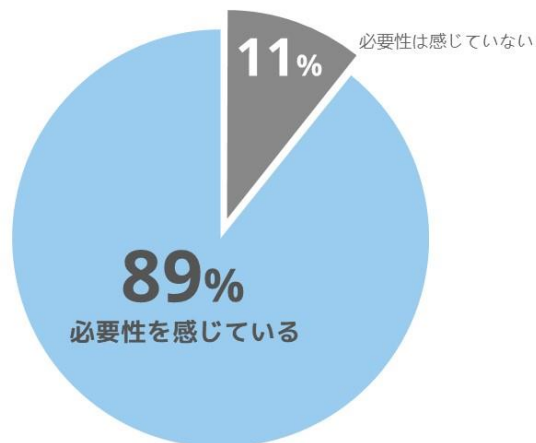
今回の調査結果では、経営層の 90% が「必要とする最新データを、いつでも、どこからでも、自分自身で入手できる環境」が整えばビジネスに影響を与えると回答した一方で、9 割の経営層が現在の自社における「データ活用度 / データ活用環境」について改善の必要性を感じていることが明らかになりました。

「必要とする自社の最新データを、いつでも、どこからでも、自分自身で入手できる環境」が貴社に整うと、あなたのビジネスに影響を与えますか？



n = 218

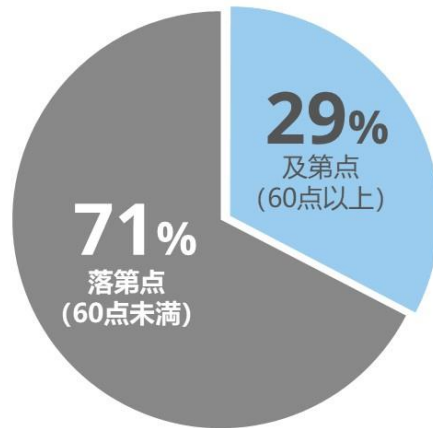
現在の貴社の「データ活用度/データ活用環境」について、改善の必要性を感じていますか？



n = 218

また、現状の「データ活用度/活用環境」の評価を求めたところ、71%の経営層が落第点となる60点未満と評価したことで、現状のデータ環境に対し経営層が大きな不満を抱えていることが伺えます。

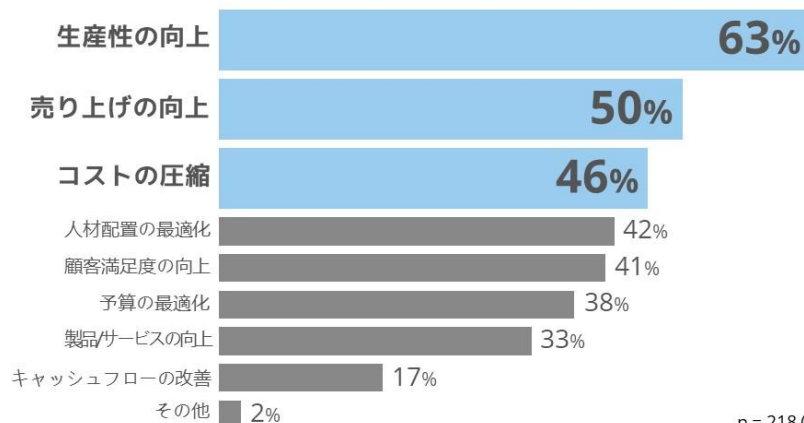
「理想的なデータ活用度/データ活用環境を100点満点」とした場合、  
貴社の現在のデータ活用度/活用環境は何点ですか？



n = 218

また、前述のデータ活用度 / 活用環境が整備された場合、どのような効果が期待できるかを尋ねたところ、「アクションや指示を的確かつ適時に行えるようになる」がもっとも多く 68%、ついで「意思決定やアクションのスピードが速まる」の 66%、「リアルタイムのビジネス状況をより具体的に把握できる」の 57% と続いたことから、経営層は、的確かつリアルタイムな現状把握と意思決定、さらにアクションまで起こせるデータ環境に期待を寄せていることがわかります。

「必要とする最新データを、いつでも、どこからでも、自分自身で入手できる環境」が整うことで、具体的にどのようなビジネス成果が期待できますか？



n = 218 (複数回答可)

さらに、前述の期待される効果が実現した場合、具体的にどのようなビジネス上のリターンを得られると思うかを尋ねたところ、「生産性の向上」がもっとも多く63%、ついで「売り上げの拡大」の50%、「コストの圧縮」の46%と続き、経営層がデータ活用 / データ活用環境の改善により大きなビジネス上のリターンを期待している姿が明らかになりました。

主な調査結果は以下のとおりです。

- 経営層の9割は「必要とする最新データをいつでも入手できる環境」が整うと自社のビジネスに影響を与えると考えている一方で、データ活用環境を改善すべきと考えている人も9割に上ることが分かった。
- 理想的な「データ活用度/活用環境」を100点満点として、現在の自社の状況を評価してもらったところ、「40~60点未満」が最も多く42%。これに「20~40点未満」と「20点未満」を合算すると71%となり、60点を及第点とするなら、全体の7割が現在の「データ活用度/活用環境」を及第点に届かないと回答した。
- 自社の「データ活用度/活用環境」における課題を尋ねたところ、51%の経営層がデータ活用度 / 活用環境の課題として「必要な時にデータを入手できない」、46%が「必要な種類のデータをすべて入手できない」と回答した。
- 業務で活用している主要なデータやレポート類の入手先は、「各事業部門から」(74%)が圧倒的に多く、「自分自身で直接データを取得」(56%)「IT部門 / データ分析部門から」(37%)が続いた。また入手先から提供されるデータ/レポートについて「意図的に解釈/加工されている可能性がある」と感じたことがある人は回答者の42%に達した。
- データ活用度 / 活用環境が整備されることで期待できる効果として、「アクションや指示を的確かつ適時に行えるようになる」(68%)「意思決定やアクションのスピードが速まる」(66%)「リアルタイムのビジネス状況をより具体的に把握できる」(57%)などの回答が多かった。
- 「データ活用度 / 活用環境」が整備されることで期待できるビジネス効果は、「生産性の向上」(63%)「売り上げの拡大」(50%)「コストの圧縮」(46%)「人材配置の最適化」(42%)「顧客満足度の向上」(41%)などが多く挙げられた。

#### ▼調査方法について

経営層のデータ活用の実態を把握することを目的に、ダイヤモンド・オンライン(DOL)会員のうち従業員数100人以上の企業の経営者・役員・部長職を抽出し、アンケート調査を実施、218人から回答を得ました。調査期間は2018年7月18日~7月31日。

▼リリースはDomoウェブサイトでもご高覧ください。

<https://www.domo.com/jp/news/press/2018-cxo-survey-report>

▼調査結果の詳細は、以下リンクより調査レポートをご覧ください。

<https://www.domo.com/jp/learn/2018-cxo-survey-report>



▼リリース PDF は以下の URL よりダウンロードいただけます。

[20180926\\_Domo\\_CxO Survey\\_Press Release](#)

▼画像はこちらからダウンロードいただけます。

[20180926\\_Domo\\_CxO Survey\\_Images](#)

###

### **Domo について**

Domo のミッションは、ビジネスのためのオペレーティングシステム(OS)となることです。すべての人々、データ、システムをデジタルにつなげることで、モバイルからも協業や意思決定がスムーズに行え、ビジネスをより効率的に進めることができます。Domo は、小売、メディア・エンターテインメント、製造、金融など業種をとわず、世界中の成長企業で活用されています。

ウェブサイト : <https://www.domo.com/jp>

Twitter : <https://twitter.com/domojapan>

Facebook : <https://www.facebook.com/DomoJapan/>

Domo、Domo Business Cloud、および The Business Cloud は Domo, Inc.の商標です。